



QB 第二号投資事業有限責任組合への LP 投資について

- ・ 地方に眠る将来性ある技術の活用を積極的に支援
- ・ Society5.0 に向けた新規事業創造のためのリスクマネーの供給
- ・ 地方大学発スタートアップを取り巻くベンチャーエコシステムの強化

株式会社産業革新投資機構（本社：東京都港区、代表取締役社長：横尾敬介、以下「JIC」）は、地方に眠る技術シーズの掘り起こしに積極的に取り組む QB キャピタル合同会社と株式会社 NCB ベンチャーキャピタルが共同で運用する QB 第二号投資事業有限責任組合（以下、「QB2号ファンド」）に対し、LP 投資を行うことを決定しましたのでお知らせします。

JIC は、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に対する資金供給を通じて民間投資を促進するとともに、投資人材の育成等を行い、我が国の次世代産業を支えるリスクマネーの好循環の創出をミッションとしています。

JIC は、ミッション達成のため、民間ファンドへの LP 投資や傘下のファンドによる投資を通じて政策的に意義のある事業分野への投資を行います。

QB2号ファンドに対する LP 投資について

JIC は、投資戦略に基づき民間ファンドへの LP 投資を行っており、今回、JIC は、QB2号ファンドに対し、最大 25 億円の出資を約束する LP 投資契約を締結しました。

（1）投資の背景

JIC の投資基準*では、産業構造や国際的な競争条件の急激な変化に対応するためには、外部からの経営資源の取り込みやその有効な活用を通じた産業活動の革新が重要であるとしています。国際的な視野で成長を目指す企業の戦略投資を支えるとともに、リスクマネーの好循環を創出することを重要な政策課題と位置付けています。

* <https://www.j-ic.co.jp/investment/criteria/>

その上で、JIC 投資基準は、「地方に眠る将来性ある技術の活用」を重点投資分野の一つとしています。具体的には、事業化により高い収益が期待できる技術を有するにもかかわらず、事業としての成長の機会を十分に与えられていない地方の大学発ベンチャー等が存在し、それらの資金需要に対応するためのリスクマネーの供給が必要とされています。

また、「Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進」も重点的に投資を行う分野とされており、具体的には AI、IoT、ロボットなど第四次産業革命に関する技術の社会実装の他、バイ

オ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイス等の国際競争力を持ちうる事業分野に対する長期かつ大規模なリスクマネー供給が必要とされています。

(2) QB2号ファンドについて

QB2号ファンドは、QBキャピタル合同会社（以下「QBキャピタル」）と株式会社NCBベンチャーキャピタルを運用会社として設立されたベンチャーファンドで、地方に眠る技術シーズの掘り起こし、およびシード・アーリーステージからの投資・ハンズオン支援に積極的に取り組んでいます。

QBキャピタルは、これまで九州地域を中心に、九州大学など地方大学との関係を築き、連携を強化することで、地方に眠る技術シーズの掘り起こしに積極的に取り組んできた実績を有します。また、同社は、次世代有機EL発光材料や代替肉（植物肉）の開発など、不確実性が高いものの非連続な成長が期待できる事業に取り組む、九州地域を中心としたアカデミア発リアルテック・スタートアップへのハンズオン支援実績も有しています。

QB2号ファンドにおいても、引き続き、九州地域をはじめとする地方大学発ベンチャーへの積極的な投資を実行し、地域発イノベーションの創出に取り組めます。

JICは、QB2号ファンドへのLP出資により、九州を中心とした地方における大学発・研究開発型スタートアップやSociety5.0に向けた新規事業の創出に資する分野へのリスクマネーの供給が促進されることを期待しています。さらに、同ファンドからの投資を受けた地方大学発スタートアップの成功事例を創出することにより、より広く他の投資家からの関心、出資を集め、九州地域をはじめ地方大学発スタートアップを取り巻くベンチャーエコシステムの強化に繋がることも期待しています。

<QB2号ファンド>

名称 : QB 第二号投資事業有限責任組合
設立 : 2021年4月
存続期間 : 10年間
GP : QB2 パートナーズ有限責任事業組合及び株式会社NCBベンチャーキャピタル。

<運用会社概要>

名称 : QBキャピタル合同会社
設立 : 2015年4月
所在地 : 福岡県福岡市
代表社員 : 坂本 剛、本藤 孝

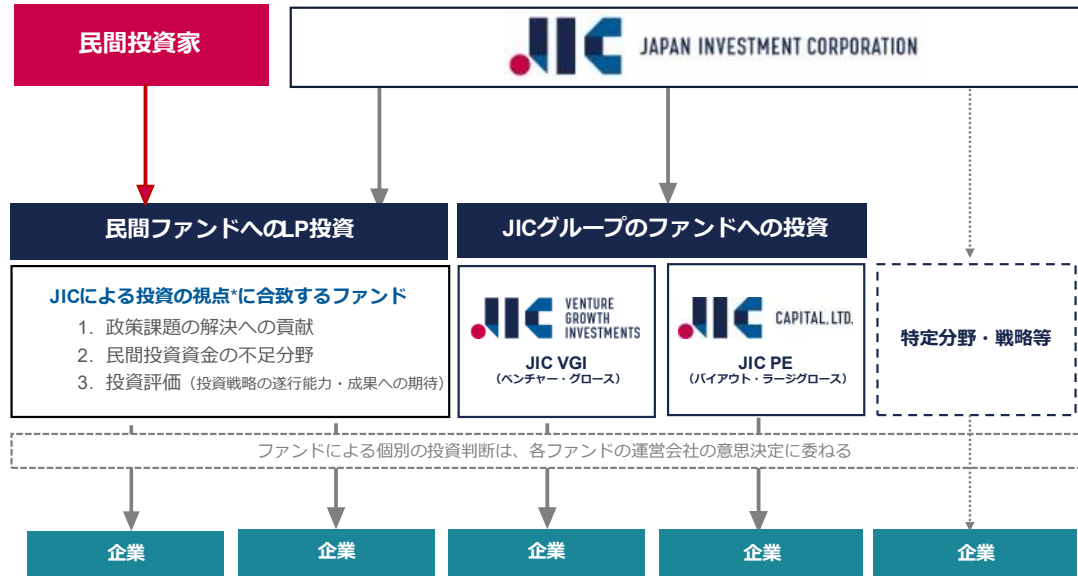
名称 : 株式会社NCBベンチャーキャピタル
設立 : 2020年5月
設所在地 : 福岡県福岡市
代表者 : 井上 一成

(参考) JIC のファンド投資戦略

JICの投資戦略



- JICは、経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じて、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネー供給を行います。



*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階・ICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

(C) JIC. All Rights Reserved.

(参考) JIC の LP 投資のねらい

(1) 企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネー供給の「呼び水」

産業競争力強化の観点から重要であるものの、民間投資資金が不足している分野（投資戦略、セクター、ステージ、地域等）への資金供給を行い、短期及び中長期的な民間投資資金の「呼び水」となることを企図します。

(2) リスクマネーの好循環を支える多様な投資チーム・投資人材・投資戦略の創出

①投資チーム

JICからの投資を通じて、ファンドの運用チーム（運用会社）の経験値とトラックレコードを積み上げ、投資家への対応力を上げることで、次号ファンド以降機関投資家（年金・海外投資家等）からのリスクマネー仲介の担い手としての成長を促進します。

②投資人材

JVCA（一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会）等の業界団体、機関投資家、投資先運用者の協力を得ながら、運用者におけるベストプラクティスの研究・導入、投資人材の育成を支援します。

③投資戦略

日本に定着している戦略以外の戦略でも、ファンド設立等に対し JIC が LP 投資することで市場に多様性と厚みを付加します。

株式会社産業革新投資機構（JIC）について

JIC は 2018 年 9 月、産業競争力強化法に基づき発足した投資会社です。JIC は、Society5.0 に向けた新規事業の創造の推進、ユニコーンベンチャーの創出、地方に眠る将来性ある技術の活用、産業や組織の枠を超えた事業再編の促進、を重点投資分野としています。これらの分野に対し、傘下のファンドや民間ファンドへの LP 投資を通じてリスクマネーを供給することで、我が国におけるオープンイノベーションを推進し、我が国産業の競争力強化や投資エコシステムの拡大に貢献することを目指しています。

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報 入江、奥村、野々宮（報道関係）

東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

電 話 : 03-5532-7086（広報直通） URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>